

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	当施設の理念、力をいれている点の地域への普及不足	地域のコミュニティを中心に当施設の理念、力をいれている点、他施設との違い等を理解して頂く	催し物への参加だけではなく、子供会、自治会老人会等へ出向き当施設の理念等の発信に努める。グループホームとは何か、そして地域にとって重要なものであることを知っていただく。	12カ月
2	35	災害時の従業員、近隣協力者の役割や避難後の具体的な対応が明確になっていない	災害の種類別に各スタッフ、近隣者の役割や避難後の対応を明確にし、常に予想外の出来事に対応できるようシュミレーションを行う	フローチャートを作成し、施設内に掲示することで意識の向上を図る。同時に様々なシュミレーションを日常的に行えるようにする。	6カ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)